



上智大学イベロアメリカ研究所

2007 年度活動報告

(2007 年 4 月～2008 年 3 月)

No. 15 (2008 年 6 月)

§ 研究会

◆ 研究所共同研究

「グローバル化時代のラテンアメリカ地域研究と教育」

研究代表者：堀坂浩太郎

共同研究者：Nina HASEGAWA、幡谷則子、今井圭子、岸川毅、三田千代子、Mauro NEVES、大越翼、清水憲男、田村梨花、谷洋之、Helena TOIDA

研究会：第 4 回 (5 月 8 日) 岸川毅「中華世界のラテンアメリカ地域研究—東アジア諸国の学術交流の意味と可能性を考える—」

海外出張：Nina HASEGAWA (ブラジル、アルゼンチン、メキシコ、7 月 23 日～8 月 18 日)
大越翼 (メキシコ、カナダ、3 月 17 日～3 月 29 日)

◆ ランチタイム・フリートーク

第 5 回 4 月 25 日 大越翼「後古典期後期ユカタン・マヤの王たちの権力基盤—ch'ibal, cuuchcabal を中心に—」

第 6 回 5 月 30 日 小林一宏「『黒い伝説』の持続と増幅」

第 7 回 6 月 25 日 山崎洋之「南アルチプラノにおけるラクダ科動物の牧畜」

第 8 回 7 月 25 日 Mauro NEVES「『理想的なブラジル』対『現実的なブラジル』—CELAO にて—」

第 9 回 10 月 24 日 Nina HASEGAWA “El impreso popular en México a finales del XIX : El caso de la Imprenta Vanegas Arroyo”

第 10 回 11 月 21 日 幡谷則子「コロンビアにおける地域立脚型経済発展と和平構築—ボゴタのバリオから紛争農村へ—」

第 11 回 1 月 30 日 Helena TOIDA「俳句に見るブラジル移民の軌跡」

◆ 平成 19 年度科学研究費補助金 基盤研究(B)

「メキシコ革命の 100 年：歴史的総括と現代的意義—国際比較の観点から」

研究代表者：堀坂浩太郎

共同研究者：幡谷則子、岸川毅、箕輪茂、Mauro NEVES、谷洋之、尾尻希和 (東京女子大学)

研究会：第 1 回 (5 月 18 日) 研究計画基本方針および日程について

第 2 回 (6 月 29 日) 谷洋之「メキシコ革命の基礎知識」

第 3 回 (7 月 6 日) 岸川毅「メキシコ革命への政治学的アプローチ：研究課題の整理」

第 4 回 (10 月 19 日) 夏季休暇中の研究成果について

海外出張：谷洋之 (メキシコ、8 月 19 日～9 月 8 日)

尾尻希和 (メキシコ、ニカラグア、キューバ、8 月 28 日～9 月 16 日)

幡谷則子 (メキシコ、2 月 21 日～3 月 6 日)

箕輪茂 (メキシコ、2 月 25 日～3 月 19 日)

Mauro NEVES (メキシコ、3 月 8 日～3 月 19 日)

堀坂浩太郎（ブラジル、3月8日～3月20日）
岸川毅（台湾、3月12日～3月24日）

§ ラテンアメリカ事情講座（ソフィア・コミュニティ・カレッジにて開講）

- ◆ 第30回 『出稼ぎ』から『デカセギ』へー日本とブラジル100年に見るヒトの流れー
2007年5月10日～6月21日（毎木曜日、全7回）

コーディネーター：三田千代子

受講者数：12名

- | | |
|------------------------------|--|
| ①日本の反対側に移民した日本人 | 三田千代子（本学） |
| ②勤勉と工夫で社会上昇を果たす日本移民 | 三田千代子（本学） |
| ③「夢見た」日本へ | 三田千代子（本学） |
| ④日本でもブラジルでも適応しなければならない「デカセギ」 | Aaron LITVIN
（本学大学院グローバル・
スタディーズ研究科） |
| ⑤「デカセギ」子弟の学ぶブラジル人学校 | 拝野寿美子
（東京学芸大学大学院
連合学校教育学研究科） |
| ⑥ヒトの流れを超えて | 堀坂浩太郎（本学） |
| ⑦ヒトの流れと文化のダイナミズム | 三田千代子（本学） |

§ 講演会

- ◆ 7月20日 “Población, salud y nutrición entre grupos prehispánicos mesoamericanos”
（先スペイン期における人口、健康および栄養問題）
Lourdes MÁRQUEZ MORFÍN（メキシコ国立人類学歴史学学校大学院教授）
“Excavaciones recientes en la región de Oaxaca, México”
（メキシコ、オアハカ地域における最近の発掘）
Ernesto GONZÁLEZ LICÓN（メキシコ国立人類学歴史学学校大学院教授）
- ◆ 10月23日 “As políticas sociais de combate à desigualdade social e pobreza no Brasil, 1995-2005”
（ブラジルの社会政策—格差是正と貧困対策 1995-2005—）
Sedi HIRANO（サンパウロ大学副学長）
＜共催：ポルトガル・ブラジル研究センター＞
- ◆ 11月20日 「『奥の細道』—異文化を行く—」
Donald KEENE（コロンビア大学名誉教授）
林屋永吉（元駐スペイン日本大使・名誉所員）
- ◆ 12月14日 「8千万件の警察文書解読に挑む—20世紀グアテマラの政治暴力と正義—」
狐崎知己（専修大学経済学部教授）
中村雄祐（東京大学大学院准教授）
- ◆ 1月18日 “El desafío latinoamericano: desde la economía hasta la tecnología”
（ラテンアメリカの挑戦—経済から技術まで—）
José Luis CORDEIRO（日本貿易振興機構アジア経済研究所客員研究員）

§ 出版物

- ◆ 『2006年度活動報告』No. 14
- ◆ *Boletín Informativo*, No. LII

- ◆ 前野敦史『メキシコ映画における「近代」の表象—*Víctimas del Pecado*を中心に—』
(ラテンアメリカ研究 ILA No.31)
 - 序章
 - 第1章 国民映画による国民の「想像」
 - 第2章 メキシコにおける国民映画
 - 第3章 『罪の犠牲者』の紹介
 - 第4章 作品分析
 - 終章
 - 参考文献
 - 要約 (スペイン語)

- ◆ 添ノ澤温子『途上国における水道事業民営化の現実と可能性—アルゼンチンを事例に—』
(ラテンアメリカ研究 ILA No.32)
 - はじめに
 - 第1章 水道事業の民営化
 - 第2章 ブエノスアイレス首都圏のケース
 - 第3章 コルドバ州のケース
 - 第4章 民営化の何が問題だったのか
 - おわりに 一望ましい水道事業のあり方とは—
 - 参考文献
 - 要約 (スペイン語)

- ◆ 堀坂浩太郎『南米南部地域における天然ガスのインフラ整備と地域統合—国家主義的発想と地域主義的発想のはざまで—』 (ラテンアメリカ・モノグラフ・シリーズ LAMS No.16)
 - I. はじめに
 - II. 南米における天然ガスの賦存と国家間の需給関係
 - III. パイプラインによるネットワーク作り
 - IV. 促進要因としてのネオリベラリズムとその反動
 - V. 危機への対応：地域的発想と国家的処理
 - VI. 「地域公共財」的発想をベースとした規範形成の必要性
 - 参考文献

- ◆ 今井圭子『アルゼンチン研究の基礎資料—国勢調査・経済社会統計—』
(ラテンアメリカ・モノグラフ・シリーズ LAMS No.17)
 - 序
 - I. 人口・総合国勢調査
 - II. 産業別国勢調査
 - III. その他の主要な経済社会統計
 - IV. 図書館案内

- ◆ 『イベロアメリカ研究』
第XXIX巻第1号 (2007年度前期)
 - 講演
 - Lourdes MÁRQUEZ MORFÍN, “Salud y sociedad en el México prehispánico: nuevos enfoques”
 - Ernesto GONZÁLEZ LICÓN y Alejandro VILLALOBOS PÉREZ, “Excavaciones recientes en el Barrio “*Mexicapam*” de Monte Albán, Oaxaca: entorno urbano, emplazamiento y arquitectura”
 - 論文
 - マヌエル・メヒド・コストヤ「中南米におけるアルテルムンディアリスタ(altermundialista)の挑戦—チリ社会フォーラムの場合—」
 - 箕輪茂「民主化したメキシコ市政府の応答性—『民主主義の質』を考察する—」
 - 研究ノート
 - Mauro NEVES, “Quase que um fim, mas um recomeço”

書評

島田礼奈 “Brockett, Charles D., *Political Movements and Violence in Central America* (New York: Cambridge University Press, 2005), xxi, 380 p.”

資料

ラテンアメリカ日誌—2006年—

研究所ニュース

活動日誌

出版物リスト

編集後記

第 XXIX 巻第 2 号 (2007 年度後期)

論文

倉田量介「キューバの音楽にみられる「若者」の変遷—ヌエバ・トロバからレゲトンへ—」

川上英「ユカタン反乱マヤのメキシコ国家への統合—マヤ側の視点から—」

舟木律子「ボリビア地方分権改革と新社会勢力の台頭—エルトルノ市の事例から—」

研究ノート

田村梨花「ブラジルの社会政策における市民社会との連携」

資料

日本・ラテンアメリカ関係日誌—2006年—

研究所ニュース

活動日誌

出版物リスト

編集後記

§ ラテンアメリカ地域研究履修証明取得者

本研究所は特別に指定した科目の中から 34 単位以上を取得した本学の学生に「ラテンアメリカ地域研究履修証明」を発行している。

2007 年度取得者

イスパニア語学科：4 名（斎藤恵、徳山静、宇野万理穂、吉田貴弘）

§ 来訪者

2 月 13 日 Patricia Eugenia CÁRDENAS SANTAMARÍA コロンビア共和国特命全権大使

§ 図書室

蔵書数：36,600 冊（和書 3,784 冊、洋書 32,816 冊）

所蔵雑誌：819 点、うち洋雑誌 742 点

購入図書：282 冊（和書 58 冊、洋書 224 冊）

受贈図書：134 冊（和書 18 冊、洋書 116 冊）

除籍図書：42 冊（和書 3 冊、洋書 39 冊）

貸出図書：1,141 冊

利用者数：1,268 人、うち学外者 213 人

利用者カード発行数：63 件

§ 共同研究員

藤井嘉祥、増山久美、村瀬幸代、武田和久、山崎洋之

§ 人事

2007 年 4 月 1 日付で Helena Hisako TOIDA 准教授（外国語学部ポルトガル語学科）が正所員に任命された。専門は文学。

§ その他のラテンアメリカに関する所員業績（ABC 順）

HASEGAWA, Nina

8月2日	学会報告	“La piedad filial en la literatura japonesa y mexicana”, Workshop on East Asian-South American Comparative Literature, XVIII Congress of the International Comparative Literature Association (Universidade Federal do Rio de Janeiro).
9月25日 ～27日	出張	第13回国際 FIEALC 学会(於:マカオ)。

幡谷 則子

6月2日	学会報告	「ウリベ政権期の社会問題—IDP(国内避難民)問題と民衆主導の和平運動—」日本ラテンアメリカ学会第28回定期大会、パネル B「ウリベ政権下コロンビアの政治・社会変動」(於:南山大学)。
8月8日 ～9月8日	現地調査	コロンビア(ボゴタ、メデジン、バランカベルメッハ)。科学研究費補助金、基盤研究(A)海外学術調査「グローバル化と開発途上国のガバナンス構築—アンデス諸国の比較研究」研究代表者:村上勇介(京都大学地域研究統合情報センター)。
9月16日 ～9月24日	現地調査	コロンビア(ボゴタ、バランカベルメッハ)。科学研究費補助金、基盤研究(B)海外学術調査「発展途上国における都市困層のコミュニティ形成に関する国際比較研究」研究代表者:瀬地山角(東京大学総合文化研究科)。
10月20日	研究会講師	「ラテンアメリカにおける住民組織と市民社会」アジア経済研究所、共同研究「アフリカ農村における住民組織と市民社会」(児玉由佳主査)。
10月28日	学会報告	「紛争地域での草の根開発と平和構築運動」ラテン・アメリカ政経学会第44回全国大会、特別パネル「人間の安全保障と地域研究—アフリカとラテン・アメリカからの視点」(於:南山大学)。
12月20日	論文	「ラテンアメリカ諸国の都市住民組織の役割と変化—コロンビアを中心に—」(『住宅』Vol. 56) 18-25 ページ。
12月21日	論文	“The illusion of community participation: experience in the irregular settlements of Bogotá”, a thesis submitted to University College London for the degree of Doctor of Philosophy.
1月15日	記事	「コロンビア民衆教育・研究センター(CINEP)」(『アジア経済』Vol. 49 No. 1) 61-67 ページ。
3月12日 ～14日	報告	“Resource Mobilization under Extreme Conditions: Community-Based Local Development and Peace-Initiative in Colombia”, (Session IV: Human Security in a ‘Neoliberal’ Global Context)国際会議「グローバルイノベーション、差異、人間の安全保障」大阪大学グローバル COE「コンフリクトの人文科学」国際研究教育拠点、大阪大学グローバルコラボレーションセンター(於:大阪大学中之島センター)。

堀坂 浩太郎

4月10日	事典項目	『ブリタニカ国際年鑑 2007』(日本版)の項目(「ラテンアメリカ」「アルゼンチン」「ブラジル」「メキシコ」)。
7月19日	講演	「海外日系人の原点に立ち、その発展と役割を求めて」。第48回海外日系人大会・第14回パンアメリカン日系人大会(於:ブラジル国サンパウロ市ブルーツリー・コンベンション・イビラプエラ)。
7月14日 ～24日	出張	ブラジル。上記講演のため。
7月25日	論文	「ミッシング・リンクに現れた“恐竜”中国—ビジネス新興勢力がつくる新たな地域間関係—」(『ラテンアメリカ時報』第50巻第3号) 2-8 ページ。

7月28日	発表	「ブラジル経済における多国籍企業とブラジル企業の多国籍化」。第41回多国籍企業研究会東西合同研究会(於:京都市コープイン京都)。
8月1日	記事	「ブラジル、さなぎを脱いだモルフォ蝶—柔軟性を身につけたグローバル・プレイヤーに」(『Global Angle』No. 17)7-11 ページ。
1月16日	講演	「日伯関係:第3ステージに」日本経済新聞・O Estado de São Paulo 新聞共催「日本ブラジル経済シンポジウム」(於:ブラジル国サンパウロ、ルネッサンス・ホテル)。
1月13日 ~19日	出張	ブラジル。上記講演のため。
3月	論文	「ブラジル国内市場再考」(『ブラジルにおける成長産業の動向と消費社会の到来』国際貿易投資研究所)74-85 ページ。

今井 圭子

4月~9月	在外研究	米国、コスタリカ、アルゼンチン、パラグアイ、ウルグアイ。
9月21日	講演	「アルゼンチン主要紙にみる日本認識」国際協力機構(JICA)ブエノスアイレス事業所(於:ブエノスアイレス、クリジョン・ホテル)。
3月7日 ~24日	現地調査	コスタリカ。研究課題「コスタリカの環境思想、政策、教育」。
3月15日	エッセイ	「『奇蹟の国』コスタリカ滞在記」(『ひとりから』第37号)29-33 ページ。

岸川 毅

6月3日	学会報告	「日本のメキシコ研究:回顧と展望」日本ラテンアメリカ学会第28回定期大会(於:南山大学)。
3月31日	共著	「メキシコ政治の読み方」(小池康弘編『現代中米・カリブを読む』山川出版社)78-94 ページ。

箕輪 茂

8月9日 ~9月19日	現地調査	メキシコ。科学研究費補助金(若手研究(B))「『民主主義の質』分析のための枠組み構築—メキシコの治安問題を題材に—」。
8月14日	学会報告	“Crisis de la seguridad pública y la calidad de la democracia en México” en XXVI Congreso de la Asociación Latinoamericana de Sociología (Universidad de Guadalajara, México)。

三田 千代子

11月21日	事典項目	「ブラジル」(『対日関係を知る事典』平凡社)318-321 ページ。
11月30日	誌上 シンポジウム	「日本とブラジル—ブラジル移民の1世紀」(『ソフィア』221号)4-45 ページ。
11月30日	論文	「ブラジルの日本人、日本のブラジル人」(『ソフィア』221号)46-70 ページ。
11月30日	コメント	「Favela Survival 生か死か」(『週刊朝日』通巻4851号)140 ページ。
12月9日	講演	「出稼ぎからデカセギへ」コーヒー文化学会主催第14回年次集会。
1月	論文	「日伯交流年・日本人ブラジル移住100周年記念寄稿—文化のダイナミズムを生み出すヒトの移動」(『ブラジル特報』2008年1月号)3-5 ページ。
1月10日	論文	「ブラジル」(移民研究会編『日本の移民研究:動向と文献目録1』明石書店)115-125 ページ。

1月10日	論文	「ブラジル」(移民研究会編『日本の移民研究：動向と文献目録2』明石書店)155-160ページ。
2月16日	アドバイザー 及び コメンテータ	ワークショップ「日系から Nikkei へ」地域研究コンソーシアム、京都大学地域研究統合情報センター主催、上智大学アメリカ・カナダ研究所、上智大学ポルトガル・ブラジル研究センター共催。
3月13日	講演	「多様性社会と多文化主義社会を生きた日本人—移動するヒト・変容する文化」 「中南米理解講座 BRICs ブラジルからのメッセージ:多様性が創る未来」国際交流基金。
3月15日	コーディネータ	ワークショップ「日本社会とブラジル人—研究者ネットワーク構築に向けて」上智大学ポルトガル・ブラジル研究センター主催。
3月21日 ～23日	現地調査	浜松市。在日ブラジル人調査。

NEVES, Mauro

6月22日	学会報告	“ <i>Ideal Brazil versus Real Brazil: Brazil in the Brazilian films from 1995 onwards</i> ”, Consejo de Estudios Latinoamericanos de Asia y Oceanía (CELAO) Segundo Congreso (Seúl).
9月27日	学会報告	“Would Korean television dramas be successful in Latin America?”, XIII Congreso de la Federación Internacional de Estudios sobre América Latina y el Caribe (Macao).

清水 憲男

7月25日	記事	「ラテンアメリカ文学の「民主化」」(『ラテンアメリカ時報』1379号)31-33ページ。
8月30日	記事	「SUR誌249号:近代日本文学紹介」(『Salmantino』No.26)9ページ。

大越 翼

4月24日	講演	「先スペイン期の先住民社会—マヤを中心に—」『まちだ市民国際学—ラテンアメリカが問いかけるもの』町田市教育委員会、まちだ市民大学講座主催。
7月13日	学会報告	“ <i>Ch’ibal y cuuchcabal: una consideración sobre su función en la organización política de los mayas yucatecos del Posclásico</i> ”, en el simposio “La estructura política de las capitales mayas: algunas aportaciones”, dentro del “Séptimo Congreso Internacional de Mayistas”, celebrado en Mérida, Yucatán.
8月1日 ～9月8日	現地調査	メキシコ合衆国メキシコ市、メリダ市およびその近郊で先住民の空間認識に関する文献調査およびフィールドワーク。科学研究費補助金、基盤研究(B)海外学術調査「日常実践におけるマヤ言説の再領土化に関する研究」研究代表:吉田栄人(東北大学大学院国際文化研究科准教授)。
8月2日	講演	“Fuentes para el estudio de la cultura maya” en el “Módulo 3: Épocas coloniales e independiente”, del Diplomado “Pasado y presente de los mayas: historia, arte y religión en el área maya”, en el Instituto de Investigaciones Filológicas, UNAM, México.
9月29日	講演	「後古典期マヤ北部低地における王権をめぐって」『アンデス文明研究会定例講座』アンデス文明研究会主催。
10月2日	学会報告	“Otto Schumann y la UNAM” coautoría con Ernesto Vargas Pacheco en el “Primer Coloquio de etnografía maya: desde el Xinca al Ch’orti”, en la Escuela Nacional de Antropología e Historia, México.

12月10日	学会報告	“La formación de las entidades políticas en las tierras bajas mayas del Posclásico tardío: una nueva perspectiva”, dentro del “Colquio Internacional ‘Variantes y variaciones entre los mayas’”, organizado por CNRS, Université Paris X, Université Paris, París, Francia.
1月12日	講演	「中米・マヤ地域の今昔—フィールド見聞録より—」『ユネスコ世界遺産講演会』大田区教育委員会社会教育課・太田ユネスコ協会主催。
3月27日	学会報告	“Residence/Delegational Office or <i>barrios</i> ?: A Consideration on the Political-Spatial Organization among the Postclassic Yucatan Maya”, in the symposium “Neighborhoods in Archaeology: The Assessment of Intermediate Units of Spatial and Social Analysis”, dentro del 73 rd SAA Annual Meeting, Vancouver, Canada.

田村 梨花

10月28日	学会発表 (コメンテータ)	「社会開発政策の各国比較と展望(コメンテータ)」ラテン・アメリカ政経学会第44回全国大会(於:南山大学)。
--------	------------------	---

谷 洋之

10月27日	学会報告	「高付加価値農業の萌芽?: メキシコのトマト輸出をめぐる最近の動向」ラテン・アメリカ政経学会第44回全国大会(於:南山大学)。
11月20日	論文	「拡大するメキシコの温室トマト輸出と地域発展の可能性」(『ラテンアメリカ・レポート』Vol. 24 No. 2) 10-19 ページ。
2月20日 ~3月5日	現地調査	メキシコ(メキシコ市)。私立学校振興・共済事業団 学術研究振興資金「食の消費と新たなアイデンティティの形成: グローバル=ローカル相互作用を手がかりに」。

TOIDA, Helena H.

8月17日 ~9月10日	現地調査	ブラジル。サンパウロの学校における絵本の読み聞かせおよびその作品の選択のポイントなどの調査。
9月23日	学会発表	「外国人児童・生徒の言語コミュニケーションを考える」(話題提供者—1.在日ブラジル人の視点から)、日本特殊教育学会、自主シンポジウム。
11月10日	論文	「南十字星の下で—俳句にみるブラジル移民の姿」(『 <i>Encontros Lusófonos</i> 』9号) 13-23 ページ。
12月	書評	“ <i>O sol se põe em São Paulo – no labirinto de almas perdidas,</i> ” <i>Revista de Estudos Universitários da Universidade de Sorocaba</i> , v. 33, no. 2.
3月8日	論文	「クロニカ(3)—叙情のクロニスタ、ルーベン・ブラガ」(『上智大学外国語学部紀要』第42号) 121-134 ページ。
3月15日	エッセイ	「桜の花は今…」(『学芸国語国文学』第40号) 175-179 ページ。

上智大学イベロアメリカ研究所

102-8554 東京都千代田区紀尾井町 7-1

Tel. 03-3238-3530 Fax. 03-3238-3229

E-mail: ibero@sophia.ac.jp

<http://www.info.sophia.ac.jp/ibero>